

景品表示法入門コース

景品表示法のポイントを具体例とともに学びます。

景品表示法（不当景品類及び不当表示防止法）で規制される「過大な景品」、「不当な表示」とはどのようなものか、違法な「景品」、「表示」となる要件など「景品表示法」のポイントを具体的な例をあげながら短時間で学びます。



<本コースのねらい>

- 「景品類」の定義、「一般懸賞」、「共同懸賞」、「総付景品」といった提供方法による景品の最高額・総額等の規制内容の違いなどを学びます。
- 規制対象となる「表示」の種類や、「優良誤認表示」、「有利誤認表示」、「その他誤認表示」といった「不当表示」と判断される条件などについて、具体例を交えて解説します。

<コースカリキュラム>

第1章 景品と表示の法律を知る	1-1 景品表示法の目的 1-2 景品類とは① 1-3 景品類とは② 1-4 景品類とは③ 1-5 景品規制とは① 1-6 景品規制とは② 1-7 表示とは① 1-8 表示とは② 1-9 優良誤認表示 1-10 有利誤認表示、その他誤認表示 1-11 事業者課せられる義務と罰則・課徴金
第2章 ケースで学ぶ景品表示法	2-1 【景品事例】売上予定総額と実際の売上総額との差異 2-2 【表示事例】誤った情報による不当表示学習の終わりに

<概要>

受講対象者	ビジネスパーソン全般
監修	●本井 克樹 本井総合法律事務所 弁護士
仕様	●想定学習時間：40分 ●最短実行時間：24分 ●テスト数：1（全10問、ランダム出題）